

平成28年度 生鮮食品等の表示実態調査の結果概要

B 商品数単位での表示状況

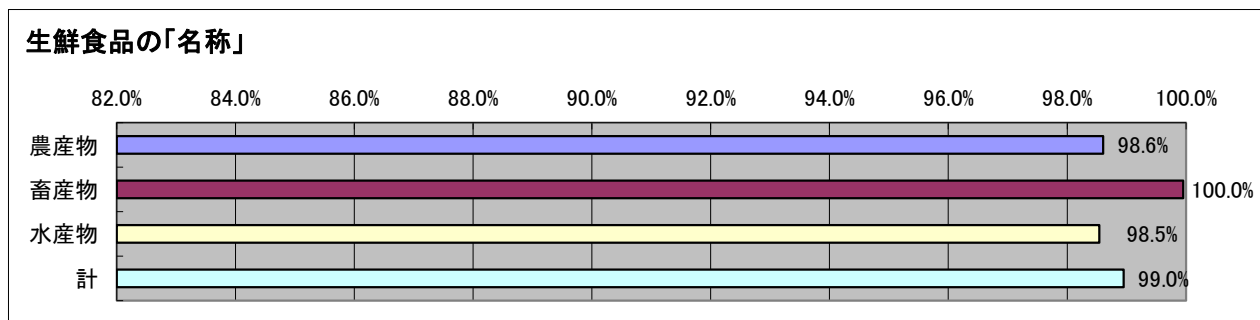
(1) 生鮮食品（農産物、畜産物、水産物）

調査実施店舗で販売されていた生鮮食品（農産物、畜産物、水産物）のうち、調査商品16,226点について、「名称」及び「原産地」の適正な表示商品数は次のとおりです。

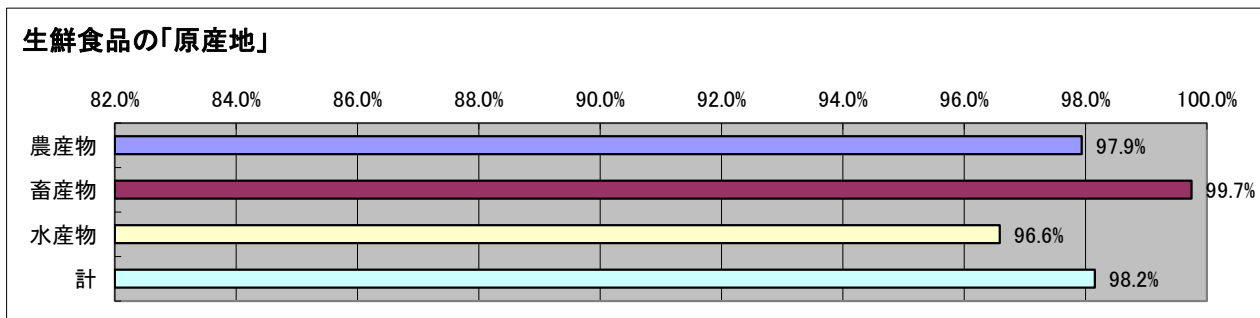
表4 適正表示商品数
生鮮食品（農産物、畜産物、水産物）

表示事項	調査商品数	名 称		原 産 地	
		適正表示商品数	適正表示商品数の割合	適正表示商品数	適正表示商品数の割合
農産物	8,676	8,555	98.6%	8,497	97.9%
畜産物	4,330	4,328	100.0%	4,319	99.7%
水産物	3,220	3,173	98.5%	3,110	96.6%
計	16,226	16,056	99.0%	15,926	98.2%

グラフ3 適正表示商品数の割合
生鮮食品（農産物、畜産物、水産物）の「名称」



グラフ4 適正表示商品数の割合
生鮮食品（農産物、畜産物、水産物）の「原産地」



(2) 米 穀

調査実施店舗で販売されていた米穀のうち、調査商品点について、「名称」、「原料玄米」、「内容量」、「精米年月日」、「販売者又は精米工場」の適正な表示商品数は次のとおりです。

表5 適正表示商品数
米 穀

表示事項	調査商品数	適正表示商品数	適正表示商品数の割合
名 称	2,002	2,002	100.0%
原料玄米		2,001	100.0%
内容量		2,002	100.0%
精米年月日		2,001	100.0%
販売者又は精米工場		2,002	100.0%

(3) 加工食品（原料原産地表示が義務付けられている22食品群及び4品目）

調査実施店舗で販売されていた加工食品（原料原産地表示が義務付けられている食品）のうち、「原料原産地」の適正な表示商品数は次のとおり。

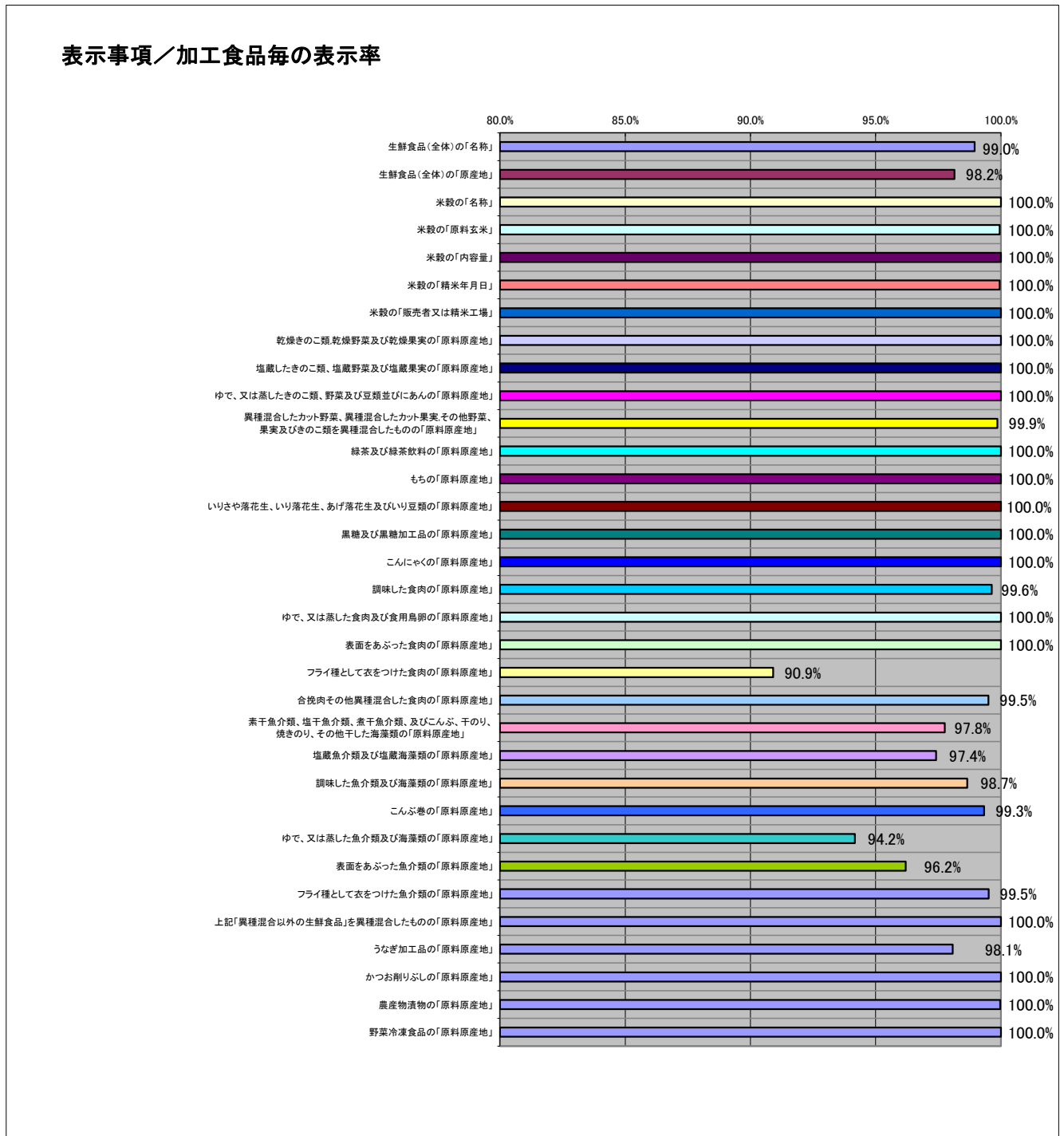
表6 適正表示商品数
加工食品（原料原産地表示が義務付けられている22食品群及び4品目）

加工食品の種類	調査商品数	適正表示商品数	適正表示商品数の割合
乾燥きのこ類、乾燥野菜及び乾燥果実	1,407	1,407	100.0%
塩蔵したきのこ類、塩蔵野菜及び塩蔵果実	85	85	100.0%
ゆで又は蒸したきのこ類、野菜及び豆類並びにあん	1,227	1,227	100.0%
異種混合したカット野菜、異種混合したカット果実その他野菜、果実及びきのこ類を異種混合したもの	718	717	99.9%
緑茶及び緑茶飲料	1,681	1,681	100.0%
もち	855	855	100.0%
いりさや落花生、いり落花生、あげ落花生及びいり豆類	221	221	100.0%
黒糖及び黒糖加工品	241	241	100.0%
こんにやく	964	964	100.0%
調味した食肉	815	812	99.6%
ゆで、又は蒸した食肉及び食用鳥卵	144	144	100.0%
表面をあぶった食肉	39	39	100.0%
フライ種として衣をつけた食肉	55	50	90.9%
合挽肉その他異種混合した食肉	199	198	99.5%
素干魚介類、塩干魚介類、煮干魚介類及びこんぶ、干のり、焼きのり、その他干した海藻類	2,764	2,702	97.8%
塩蔵魚介類及び塩蔵海藻類	696	678	97.4%
調味した魚介類及び海藻類	1,342	1,324	98.7%
こんぶ巻	300	298	99.3%
ゆで、又は蒸した魚介類及び海藻類	360	339	94.2%
表面をあぶった魚介類	79	76	96.2%
フライ種として衣をつけた魚介類	203	202	99.5%
上記「異種混合以外の生鮮食品」を異種混合したもの	133	133	100.0%
うなぎ加工品	156	153	98.1%
かつお削りぶし	740	740	100.0%
農産物漬物	3,226	3,225	100.0%
野菜冷凍食品	645	645	100.0%

ほとんどの調査商品が適正に表示されていました。

(4) 生鮮食品・米穀・加工食品の表示事項毎の比較
 調査商品の品目別による表示事項毎の適正な表示商品数の割合を比較すると、次のとおりです。

グラフ5 適正表示商品数の割合



※文中及びグラフ中の%数値は、少数点以下第2位を四捨五入して記載しています。

3 指導事項

表示の欠落又は産地等の誤表示が確認された店舗に対しては、その場で改善指導を行いました。